

事務事業マネジメントシート(平成25年度実績と平成26年度計画)

平成27年 1月 5日 更新

事務事業名		女性団体支援事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局	課長名	辻 健一
	施策	14	市民参画によるまちづくりの推進			所属課	生涯学習課	担当者名	武田直子
	基本事業	41	地域づくり(まちづくり)人材の育成			所属班	生涯学習班	(内線)	1515
予算科目		会計一般	款10	項5	目1	事業連番10324	法令根拠	成果優先度評価結果 : ⑧ コスト削減優先度評価結果 : ⑥	
終了、開始年度		☒ 25年度で終了 ☐ 25年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	地域婦人会への補助金の交付女性団体の活動支援を目的に昭和33年に旧合志町地域において婦人会が発足した。地域婦人会に参加する女性は減少してきており、旧西合志町はすでに団体としては解散しており、現在の会員は旧合志町の女性が大部分である。
【業務の流れ】	地域婦人会長から補助金交付申請書を受理する。申請書審査後、交付決定となれば交付決定書を発行して婦人会長からの請求を受け、補助金を交付する。事業終了後、実績報告書を受理する。
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	支部も減り、会員数が減ってきているので、現状維持とともに賛助会員の増加に努める必要があるとの声がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 25年度実績(25年度に行った主な活動)(DO)		26年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
合志市地域婦人会活動(会員数130名)に対して344,000円の助成金を交付を行なった。		地域婦人会解散に伴い活動は終了予定
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア 活動費の額	円	地域婦人会解散に伴い、事業終了
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)
市内女性		→ ア 市内女性人口
		→ イ
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)
地域婦人会に参加し、活動を活発に行ってもらう。		→ ア 地域婦人会会員数
		→ イ
*③成果指標設定の理由と26年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
		344

(2)各指標・総事業費の推移										
		単位	23年度 実績(決算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	25年度 実績(決算)	26年度 目標(当初予算)	27年度 予定	28年度 見込	29年度 見込
① 活動指標		円	1,043,322	875,026	900,000	1,226,216	0	0	0	0
② 対象指標		人	29,349	29,752	30,200	0	30,200	30,200	30,200	0
③ 成果指標		人	131	131	130	0	130	130	130	0
投資 入 費 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	344	344	344	344			
	(A) 事業費計	千円	344	344	344	344	0	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	人 件 費	正規職員従事人数	人	2	2	2	1	0	0	0
		延べ業務時間	時間	40	30	40	20	0	0	0
		(B)人件費計	千円	161	122	162	79	0	0	0
	トータルコスト(A)+(B)		千円	505	466	506	423	0	0	0

事務事業名	女性団体支援事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	----------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部（SEE）

※原則は25年度の後評価、ただし複数年度事業は25年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①25年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	②26年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 【前年度内容】女性団体の構成員が減少しつつあるため、より広域に、より多くの会員確保への団体伸長を図ってもらいたい。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業）⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 【前年度内容】積極的な活動を行っている団体なので、代替できる余地はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 【前年度内容】長年、多岐にわたる活動で地域に貢献し、市の事業には毎回多くの協力をいただいております。また、他の団体からの要請にもすすんでボランティア活動をしていただいております。活動費の決算額も毎年500千円を上回り、今後の活動を支援していくためにも削減の余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 【前年度内容】助成金の交付や事業実績の確認など、必要最小限の事務であるため削減は難しい。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 【前年度内容】地域婦人会は、会員のまちづくりへの意識が高く、市助成を受け積極的に活動しているので、公正さは保たれている
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 役割分担は適正である ⇒【理由】 【前年度内容】活動の案内文などを職員が代行して行っており、婦人会が直接行うなど見直しの余地がある。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

【前年度内容】支部長会、人権教育事業参加、まちなっとセラヴィ活動、こんにちは熊日inヴィーブル（あんもちだご汁つくり）、三つの木の家宿泊研修協力、社協ボランティア活動、青少年育成関係活動、竹迫観音祭協力、婦人会支部長・会員研修会（防災・美里町、市民まつり協力、健康を守る婦人の会活動、防災関係活動、環境関係活動、成人式協力、男女共同参画関係活動、生活安全推進関係活動、子どもフェスティバル協力（もちつき）、JA関係活動、自治基本条例関係活動、婦人会だより発行…などの婦人会活動に対して助成を行った。昨年度同様、活発に活動してもらった。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要）																					
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善（有効性改善） ☐ 事業のやり方改善（効率性改善） ☐ 事業のやり方改善（公平性改善） ☐ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）																							
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																							